横浜市立幸ケ谷小学校　学校だより
# KOU KOU Newsletter
4月号
令和5年4月7日発行
横浜市立幸ケ谷小学校
TEL（441）3170
FAX（441）9896

**学校教育目標:「自分　友だち　社会の幸せをつくる子ども」**

Web Site　http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kohgaya/
E-mail　y3kogaya@edu.city.yokohama.jp

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
UNESCO Associated Schools

## 自分　友だち　社会の幸せをつくる

校 長　本庄　則子

学校の花壇には、環境委員会の子どもたちが植えた色とりどりのチューリップが咲き、令和５年度が始まりました。昨年度は少しずつ日常の生活が戻り、授業参観や懇談会も行うことができました。そして、３月には１２６名の卒業生が立派な姿で幸ケ谷小を巣立っていきました。卒業証書授与式では、それぞれが緊張しながらも晴れやかに輝いた顔で卒業証書を受け取っていました。頼もしく成長した子どもたちですが、まだまだ見守りが必要なことがあるかと思います。今後とも、子どもたちへのエールをお願いいたします。

### 入学おめでとうございます

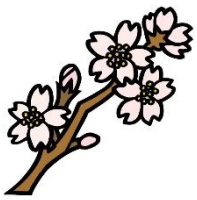
本日、新たに１４０名を超える新一年生を迎えることができました。保護者の皆様に心よりお祝いを申し上げます。小学校生活の出発にあたり、お子様の健やかな成長に大きな期待を抱いておられることと思います。また、新一年生の子どもたちにとりましても、初めての学校生活、不安と緊張の中にも、期待で胸が膨らんでいることと思います。一日も早く学校生活に慣れ、毎日が喜びと楽しさに溢れるものとなるよう、教職員一同全力を尽くして取り組んで参ります。

幸ケ谷小学校の学校教育目標は、**「自分　友だち　社会の幸せをつくる子ども」**です。シンプルですが深い目標です。

「自分の幸せをつくる子ども」。そもそも、幸せは十人十色。幸せだと感じる瞬間も異なります。何をもって幸せとするかは、自分自身でしかわかりません。自分の幸せとは何かを感じ、それをつくるために考えたり行動したりすることができる、そんな子どもを育てるためには、基礎的な知識や技能は不可欠です。「なぜ、勉強をするの？」「幸せになるため。」と聞いたことがありますが、自分の幸せをつくることは、学ぶ意味にも通じます。

「友だちの幸せをつくる子ども」。相手意識や想像力が必要になります。友だちの幸せが何かを想像できなくてはなりませんし、友だちが幸せであることを望めることも必要です。自分も相手も幸せになるためにはどうすればよいかを同年代の集団の中で遊びや活動、行事などを通して見つけ、人間関係を築く力をつけることは、学校の存在意義のひとつだと考えています。

「社会の幸せをつくる子ども」。本校が取り組んできたESD（持続可能な社会の担い手を育む教育）に通じます。幸ケ谷小では、全学年で地域との関わりを大切に、学習を進めています。自分たちが住んで知る「まち」につつまれて成長していることを実感することで、身近な地域そして自分が生きていく社会の幸せを自分たちでつくろうとする子どもを育てたいと考えます。



この目標に向かっていくためには、PTA、共育倶楽部、おやじの会、地域の皆様の協力は不可欠です。今までもこれからも、子どもたちに寄り添い共に一歩ずつ前に進んでいただける保護者・地域の皆様、今年度もご支援とご協力をお願い申し上げます。